

市の主な関連施策の取組状況一覧(重点項目)

目 次

分野①	栄養・食生活	1～4 ページ
分野②	たばこ	5～6 ページ
分野③	運動・身体活動	7～11 ページ
分野⑦	健康管理	12～17 ページ

市の主な関連施策の取組状況一覧（重点項目）

① 栄養・食生活

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。
※下線部_____は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度の取組	29年度の取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
○					両親教室（妊娠・ 出産編）		【拡充】 働く妊婦やその夫の参加を促進するため、妊娠中の食生活や育児の手技を実習形式で習得できる講座にリニューアル。 【工夫・改善】3日間のコース制から、選択制に変更。講座の内容を見直し、体験実技や実習を取り入れたマタニティヘルス講座や平日および土曜日開催のマタニティ講演会を実施。参加したい講座の選択や就労妊婦や夫が参加できるように工夫した。		保健センター
○					離乳食講習会	【工夫・改善】 かみかみコースのちらしを乳児後期健診票を発送時に同封。タイムリーな時期の案内を実施し、受講者数の向上を図った。			保健センター
○					育児相談会（らっこクラブ）		【廃止】 事業開始当初は10か月頃の相談場所がなかったが、現在では他機関でも同様の事業が実施されており、地域での子育て交流の場が増えたことから、本事業の一定の役割を終えたものと判断。		保健センター
○					乳幼児健康診査				保健センター
○					4か月児健診保健指導事業（すくすく赤ちゃんクラブ）				保健センター
○					0歳児クラス懇談会				保育幼稚園室
○					のびのび子育てプラザ事業（育児教室・子育て講座）				のびのび子育てプラザ

① 栄養・食生活

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
○					地域子育て支援センター事業 (子育て支援事業 育児教室)		【拡充】 実施箇所数1か所の増		子育て支援課
○					保育所等における給食				保育幼稚園室 地域支援センター 杉の子学園 わかたけ園
○					市立保育所の給食の年間計画・食育計画作成				保育幼稚園室
	○	○			市立小・中学校の保護者に対する給食試食会				保健給食室
		○	○	○	各種健康診査				保健センター
				○	吹田市国保健康診査 特定保健指導 特定保健指導継続支援				国民健康保険室 保健センター
				○	栄養改善講演会		【工夫・改善】 チラシのレイアウトや設置場所を見直し、周知方法の改善を図った。		高齢福祉室
				○	包括的支援講座				高齢福祉室
				○	高齢者への配食サービス	【工夫・改善】 厨房施設や利用者に渡すメニュー内容、工夫して調理しているお弁当を委託事業所ごとに写真撮影し、事業者研修会で発表、情報交換することで、より高齢者が満足する配食の製造を目指すことに取り組んだ。	【工夫・改善】 配食とともに訪問時に安否確認を行うことが事業の目的であるため、高齢者の体調不良等にいち早く気づくことができるよう、委託事業者と一緒に緊急対応フロー図を作成。		高齢福祉室

① 栄養・食生活

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度の取組	29年度の取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
○		○	○	○	健康教育	【工夫・改善】 平成28年度から保健センター兼務となった文化スポーツ推進室職員と、市民健康教室の企画から共同で実施した。また、文化スポーツ推進室の出前講座に保健師が同行し、ミニ講座を実施した。			保健センター
○	○	○	○	○	健康相談				保健センター
○	○	○	○	○	食育講演会				保健センター
○					マタニティクッキング		【新規】 妊娠期の栄養や食事のとり方、減塩について講義や調理実習を通して学ぶ。また、離乳食づくり体験を行い、赤ちゃんの食のスタートとなる離乳食づくりが負担にならないよう支援する。 (平成29年6月から開始)		保健センター
				○	地域リハビリテーション活動支援事業		【新規】 高齢者の自立支援の取組を推進するため、自立支援型ケアマネジメント会議や事業者への研修会を実施する。 自立支援型ケアマネジメント会議の助言者には栄養士、歯科衛生士の出務を依頼しており、介護保険要支援認定者等のケアプランに対して、筋力や体力アップのための栄養指導や栄養吸収のための口腔ケアの評価等を実施することで、効果的に高齢者の自立支援と生活課題解決を図ることを支援する。	【拡充】 高齢者の自立支援の取組の実践の浸透・拡大をめざすため、自立支援型ケアマネジメント会議の開催回数を増やして実施する。	高齢福祉室

① 栄養・食生活

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
○	○	○	○	○	健康情報拠点推進事業（すいたん健康プロジェクト）		【新規】 ・市民が、生活に身近な場所から健康についての情報を得ることをきっかけとして、市民の健康に対する意識の向上、健康増進につなげることをめざし、民間施設及び市の公共施設等を、健康づくりに関する啓発等を行う情報発信拠点とする。 ・民間商業施設において、「減塩」の啓発活動のためにフードモデルやパネルの展示による啓発イベントを実施。また、「減塩」をテーマに、ポスター掲示やちらしの配架、商品へのPOP表示による常時啓発を実施（平成29年度中予定）。	啓発を行う施設を増やすとともに、「野菜の摂取量を増やす」「牛乳・乳製品の摂取量を増やす」等新たなテーマについても順次啓発を検討。	保健センター

② たばこ

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部 _____ は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
○		○	○		妊婦（両親）教室 （妊娠・出産編） （父親育児編）	【工夫・改善】 教室で使用する冊子に記載するたばこについての内容を充実させた。妊娠（両親）教室のテキストを母子手帳交付時に、全ての妊婦に配布するようにした。			保健センター
○					妊産婦相談支援事業 （旧 妊娠・出産包括支援事業）	【新規】 母子健康手帳交付時に、専任保健師が全員の妊婦に面接し、その際に家族を含めた喫煙の状況を確認し、禁煙指導やたばこの害についてのリーフレットの配付を行う。また、必要に応じて医療機関紹介や継続指導を行う。			保健センター
○					妊婦健康診査				保健センター
○		○	○		妊産婦・乳幼児訪問				保健センター
○		○	○		乳幼児健康診査				保健センター
		○	○	○	各種健康診査				保健センター
			○	○	吹田市国保健康診査 特定保健指導 特定保健指導継続支援				国民健康保険 室 保健センター
	○				小学校「保健」授業、 中学校「保健体育」授業				指導室
○		○	○	○	禁煙相談				保健センター

② たばこ

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部 〃 は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
○		○	○	○	健康教育				保健センター
○	○	○	○	○	健康相談				保健センター
○	○	○	○	○	公共施設の受動喫煙 防止啓発				保健センター
○	○	○	○	○	世界禁煙デー及び禁 煙週間の周知				保健センター
○		○	○	○	禁煙対策特別企画展	【工夫・改善】 イオン北千里店でCOPD啓発イベントを実施した。	【工夫・改善】 産業フェアに出展し、COPDの啓発、禁煙 治療費助成制度のPRを実施（平成29年9 月には、吹田スタジアムフェスタに出展、 啓発を行う予定）。		保健センター
		○	○	○	禁煙治療ができる医 療機関の情報提供				保健センター
		○	○	○	路上喫煙禁止地区の 指定	【拡充】 平成29年2月1日から、大阪モノレール万 博記念公園駅周辺を新たに、環境美化推進 重点地区及び路上喫煙禁止地区に指定し た。		【拡充】 環境美化の促進及び路上喫煙 の適正化を図るため、新たな 環境美化推進重点地区と路上 喫煙禁止地区の指定を検討。	地域環境課
		○	○	○	禁煙治療に係る医療 費の一部助成		【新規】 喫煙者の禁煙への関心を促し、禁煙の取組 を支援するため、医療機関において保険診 療による禁煙治療を受けた際の自己負担額 の一部を助成する。また、助成を希望する 者に対し、必要に応じて禁煙治療開始後に 禁煙相談等のフォローを行うことにより、 当該取組及び禁煙継続を支援する。 （平成29年5月1日から開始）		保健センター

③ 運動・身体活動

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
○					乳幼児健康診査		【工夫・改善】 2歳6か月児歯科健康診査の待ち時間を利用し、保護者対象に乳がん自己触診の啓発を毎回実施。		保健センター
○	○	○			児童会館・児童センターでの運動行事				子育て支援課
○		○	○		運動あそびプログラム推進事業	【工夫・改善】 保育所及び幼稚園に、紹介・提案している運動あそびの考え方やアプローチ方法を根拠あるものにして、還元するため、千里金蘭大学との共同研究をスタートし、運動あそびに関するサンプル集を合同で作成した。	【工夫・改善】 千里金蘭大学との共同研究を通して作成した、保育に活かせるサンプル集を保育施設に配付した。また、大学との共同企画で私立園（保育所・幼稚園等）の職員を対象にセミナーを実施した。		文化スポーツ推進室
○	○	○	○	○	運動習慣化プログラム推進事業	【新規】 すいた笑顔（スマイル）体操、ウォーキング講座、ノルディックウォーキング講座、市民スポーツ講座等。 【工夫・改善】 市民スポーツ講座の一部を保健センターと連携し、生活習慣病予防、介護予防の講座を開催することで、運動の必要性や健康管理の意識の向上に努めた。	【事業の統合】 生涯スポーツ指導事業を廃止し、運動習慣化プログラム推進事業へ統合 【工夫・改善】 一般事務（体育）が保健センターと兼務することで、健康教育やウォーキング講座の企画、実施を保健師と協同で行う。		文化スポーツ推進室
	○	○			ゆいびあストリートサッカー大会				青少年室
	○				部活動活性化支援事業				指導室
○	○	○	○	○	各種スポーツ教室の開催				文化スポーツ推進室
○	○	○	○	○	吹田市障がい者体育祭（北千里体育館）				文化スポーツ推進室
				○	高齢者スポーツ教室				文化スポーツ推進室

③ 運動・身体活動

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部 〃 は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
				○	高齢者スポーツ大会 の開催			平成29年度をもって廃止 予定	高齢福祉室
○	○	○	○	○	地域スポーツ振興事 業				文化スポーツ推 進室
				○	介護予防健康体操教 室				交流活動館
				○	運動器の機能向上事 業（はつらつ教室）		【廃止】 二次予防事業は一般介護予防事業として改編。 一般介護予防事業普及開発事業はつらつ体操教 室へ移管		高齢福祉室
				○	介護予防訪問指導事 業		【廃止】 二次予防事業から一般介護予防事業への改編に 伴い廃止。		高齢福祉室
				○	介護予防推進員養成 講座		【工夫・改善】 内容の見直しを行い、実際に介護予防推進員と して取り組んでもらいたい内容として、運動に 関するプログラムを増やした。また、「体力測 定」を実習として取り入れた。		高齢福祉室
				○	街かどデイハウス事 業補助事業				高齢福祉室
				○	介護支援サポーター 事業	【拡充】 受入対象施設に病院を追加した。	【工夫・改善】 活動定着を目的に、介護支援サポーターを対象 としたアンケートを実施。		高齢福祉室
				○	認知症予防講演会				高齢福祉室

③ 運動・身体活動

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部 〃 は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
				○	公園体操		【工夫・改善】 平成29年4月、1 か所追加。 平成30年2月から公園のみでなく、地域連携協 定に基づき商業施設内でも1 か所実施。これに 伴い、事業名を「公園体操」から「広場de体 操」に改称。		高齢福祉室
				○	認知症予防教室				高齢福祉室
	○	○	○	○	重度障がい者住宅改 造助成事業				障がい福祉室
○	○	○	○	○	すいた笑顔（スマイ ル）体操の普及	【工夫・改善】 昼休みに庁内ですいた笑顔（スマイル）体操の 曲「笑顔」を放送（3月6日から）し職場での 体操を推奨している。来庁者には音楽に親しん でいただき、体操を実践するきっかけづくりを 行っている。	【工夫・改善】 9月から第2水曜日を「スマイルデー」と位置 付け、本庁舎の玄関ロビーで放送されている体 操の曲「笑顔」に合わせて各部局に呼びかけ、 体操を実践している。		文化スポーツ推 進室 高齢福祉室 保健センター
	○	○	○	○	生涯スポーツ指導事 業		【廃止】 運動習慣化プログラム推進事業へ「生涯スポー ツサポート」として統合		文化スポーツ推 進室
	○	○	○	○	オーパス・スポーツ 施設情報システム				文化スポーツ推 進室
○		○	○	○	運動講座	【工夫・改善】 講座対象年齢の子どもが参加する他の図書館行 事や近隣の施設でチラシを配りPRに努めた。	【縮小】 文化スポーツ推進室と調整の結果、児童向きの 講座については近隣の施設での実施に協力する ことに変更。なお、成人向きの講座は各館1回 ずつ継続実施。		中央図書館
	○	○			青少年交流支援事業 (夢つながり未来館の 多目的ホール開放)				青少年室

③ 運動・身体活動

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学 齢	成 年	壮 年	高 齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
○	○	○	○	○	ウォーキング・ジョギングができる公園内園路の整備				公園みどり室
○	○	○	○	○	ぶらっと吹田（花と緑、水めぐる遊歩道）				公園みどり室
	○	○	○	○	公園への健康遊具の設置				公園みどり室
○	○	○	○	○	交通バリアフリー化整備補助事業				総務交通室
○	○	○	○	○	交通バリアフリー推進事業				総務交通室
	○	○	○	○	障がい者等移動支援事業	【拡充】 施設入所者の対象は、大阪府内の施設に限定していたが、府外施設入所者にも対象を拡充した。			障がい福祉室
		○	○	○	各種健康診査				保健センター
			○	○	吹田市国保健康診査 特定保健指導 特定保健指導継続支援	【工夫・改善】 文化スポーツ推進室の職員が保健センター業務を兼務し、教室の企画やカンファレンスに参加することで、より質の高いメニューの提供に努めた。			国民健康保険室 保健センター
○		○	○	○	健康教育	【工夫・改善】 ・文化スポーツ推進室の職員が保健センター業務を兼務し、教室の企画やカンファレンスに参加することで、より質の高いメニューの提供に努めた。 ・摂津市と共催で、健都のPRを兼ねた「健都グリーンウォーク」を実施。			保健センター
○	○	○	○	○	健康相談				保健センター

③ 運動・身体活動

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。

※下線部は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度の取組	29年度の取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組		
○					マタニティヘルス講座		【新規】 妊産婦やパートナーを対象に栄養士の講義と歯科衛生士の講義やブラッシング実習、体育指導員による講義と簡単なストレッチ実技を取り入れた講座を実施。講義だけでなく、体験しながら妊娠期および産後の生活について学ぶ。		保健センター
				○	住民主体の集い（通い）の場 「いきいき百歳体操」		【新規】 週に1回、3か月以上継続しておもりを使った筋力トレーニング「いきいき百歳体操」の実施を希望する団体、グループに対しておためし講座、活動支援講座、フォロー講座を実施する他、DVD貸与、おもりを準備するまでの期間、おもり等の貸与を実施。身体機能の維持・向上や、高齢者が主体的に地域づくりに参画することを目指す。 （平成28年度大阪府モデル事業 平成29年4月新規事業として開始）		高齢福祉室
				○	はつらつ体操教室		【新規】 平成29年9月まで介護予防事業二次予防事業として実施してきた「はつらつ教室」を、介護予防普及啓発事業（一般介護予防事業）として名称・プログラムを変更。週1回、3か月間通所し、介護予防について総合的・集中的に学び、教室終了後、地域と関わりながら地域の中で介護予防を継続して実践できる高齢者を増やすことを目的とする。 毎回筋力トレーニングを行う他、ストレッチ等の体操、健口体操、月1回保健師による介護予防に関する講座を実施。 （平成29年10月から実施）		高齢福祉室
○	○	○	○	○	健康情報拠点推進事業（すいたん健康プロジェクト）		【新規】 市民が、生活に身近な場所から健康についての情報を得ることをきっかけとして、市民の健康に対する意識の向上、健康増進につなげることをめざし、民間施設及び市の公共施設等を、健康づくりに関する啓発等を行う情報発信拠点とする。	民間商業施設で実施する健康づくりに関する常時啓発において「運動・身体活動」をテーマとした啓発の実施を検討。	保健センター

⑦ 健康管理

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。
 ※下線部_____は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
○					妊婦健康診査				保健センター
○					乳幼児健康診査 (①乳児一般健診、② 4か月児健診、③乳 児後期健診、④1歳 6か月児健診、⑤3 歳児健診)	【工夫・改善】 乳幼児健診の間診票（控）に、子どもの 次回健診の案内と、保護者への健(検)診 勧奨メッセージを追加した。	【工夫・改善】 2歳6か月児歯科健康診査の待ち時間を 利用し、保護者対象に乳がん自己触診の 啓発を毎回実施。		保健センター
○					市立保育所での定期 健康診断				保育幼稚園室
○	○				市立幼稚園、小・中 学校での定期健康診 断				保健給食室
○					杉の子学園、わかた け園での定期健康診 断				杉の子学園 わかたけ園
	○				子どもの生活習慣病 予防検診及び集団栄 養指導				保健給食室
○					妊婦（両親）教室 （妊娠・出産編）	【工夫・改善】 妊娠（両親）教室のテキストを母子手帳 交付時に、全ての妊婦に配布するように した。			保健センター
○					妊産婦相談支援事業 （旧 妊娠・出産包 括支援事業）	【新規】 母子健康手帳の交付の際に、専任保健師 が全員の妊婦に面接し、健康づくりの観 点からの妊婦健診や出産後の乳幼児健診 の重要性について啓発し、受診勧奨を 行っている。			保健センター

⑦ 健康管理

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。
※下線部_____は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組		
○		○	○		妊産婦・乳幼児訪問				保健センター
		○	○	○	各種健康診査	【拡充】 30歳代健康診査について、勧奨用ハガキの送付対象者を拡充した。 30歳・35歳・前年度受診者⇒対象者全員			保健センター
			○	○	吹田市国保健康診査 特定保健指導 特定保健指導継続支援	【工夫・改善】 吹田市国保健康診査の未受診者勧奨文書の送付対象者を拡大。 40歳のみ⇒40歳代で特定年齢の人。 内臓脂肪解消セミナーを、保健センター、南千里分館の2会場で年間30回実施 ⇒内本町・亥の子谷地域保健福祉センターでの2回を追加。	【工夫・改善】 内臓脂肪解消セミナーを新たに4会場で実施（千里山佐井寺図書館・勤労者会館・千里丘市民センター・豊二地区公民館） 土曜日開催を年2回から4回に増枠。内2回は南千里分館で開催。	特定保健指導の利便性の向上及び実施率の向上のため、現在直営で実施している特定保健指導を医師会及び特定保健指導業者に委託して実施する。 →医師会：動機づけ支援、特定保健指導業者：積極的支援（平成30年9月から実施予定）	国民健康保険 室 保健センター
			○	○	特定健診フォローアップ事業	【新規】 吹田市国民健康保険加入者を対象に (1)特定保健指導対象外で高血圧者（血圧高値者）及び血糖高値者への電話や訪問等での医療機関への受診勧奨の徹底 (2)糖尿病の治療はあるが、治療中断等のコントロール不良が推察できる人に対して、訪問を中心に、受診確認及び受診勧奨を実施 その他 ・医療機関との連携強化 ・糖尿病及び糖尿病重症化予防についての市民向け講演会の実施			国民健康保険 室 保健センター

⑦ 健康管理

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。
※下線部は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組		
		○	○	○	健康管理支援	【工夫・改善】 吹田市生活習慣病予防健診について、希望者のみに受診票を交付 ⇒受診期間を誕生日月またはその翌月とし、誕生日月の前月に受診票を送付	【工夫・改善】 日常生活習慣病患者等については、これまで特定保健指導対象者のみ支援対象としていたが、今年度から特定保健指導対象者に加え、空腹時血糖値110以上かつHbA1c6.0以上のケース（ただし、糖尿病の治療をしておりHbA1c7.0以下のケースを除く）についても支援対象者とし、対象者の幅を広げた。		生活福祉室
		○	○	○	各種がん検診		【拡充】 女性の健康フェスティバル（平成30年3月開催）に合わせて子宮がん検診・乳がん検診の集団検診を実施。	【廃止】 国の指針の変更に基づき、30歳代乳がん視触診単独検診を廃止	保健センター
○		○	○	○	健康教育		【工夫・改善】 ・乳房自己触診方法の啓発のための動画を作成し、まなびの支援課より配信する。 ・女性の健康週間に合わせて毎年3月に女性の健康講座を実施していたが、今年度は規模を拡大し、民間企業との連携や、がん検診同時実施などを盛り込んだ、女性の健康フェスティバルを実施。		保健センター
○	○	○	○	○	健康相談				保健センター
○	○	○	○	○	健康管理拠点拡大モデル事業		【廃止】 国のモデル事業の終了に伴い廃止。 なお、平成29年度からは、民間施設及び市の公共施設等において、健康づくりに関する啓発等を行う「健康情報拠点推進事業」としてリニューアル。		保健センター

⑦ 健康管理

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。
※下線部は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組		
○	○	○	○	○	すいた健康サポーター事業	【工夫・改善】 キッズ健康サポーター教室を吹田第三小学校と千里だけみ小学校の4年生を対象に実施をした。	【工夫・改善】 キッズ健康サポーター教室の実施小学校を2校から4校に増やして実施。	キッズ健康サポーター教室の実施小学校を4校から8校程度に増やして実施を予定。	保健センター
			○	○	健康ポイント事業	【新規】 市民が健康づくりに取り組む機会を広げる方策の一つとして、特定健診・がん検診の受診や健康講座への参加等をポイント化し、一定のポイントに達した市民に対し、特典として商品等を付与する。			保健センター
		○	○	○	図書館運営事業（健康に関する情報提供、健康講座の開催、読書相談等）	【工夫・改善】 地域館で済生会千里病院の協力を得て健康医療情報講座を開催（平成29年2月）。 成人サービスの重点取組みとして、健康医療情報のコーナーの充実に各館で取り組んでいる。			中央図書館
		○	○	○	出前講座		【拡充】 生涯学習推進本部事業の拡充事業として、出前講座を市のホームページ上で動画配信する。		まなびの支援課 （出前講座の講師派遣：保健センターほか）
		○	○	○	健康講座・講演会		【工夫・改善】 生涯学習における現代的課題「健康づくり」として、乳がんについて、より多くの方に気づきの機会を提供することを目的に、生涯学習吹田市民大学講座において「大切な人の想いとともに・・・」を実施した。		まなびの支援課

⑦ 健康管理

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。
※下線部_____は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度取組	29年度取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または継続事業における工夫・改善等の取組		
○	○	○	○	○	健康情報拠点推進事業（すいたん健康プロジェクト）		【新規】 市民が、生活に身近な場所から健康についての情報を得ることをきっかけとして、市民の健康に対する意識の向上、健康増進につなげることをめざし、民間施設及び市の公共施設等を、健康づくりに関する啓発等を行う情報発信拠点とする。		保健センター
○					産後ケア事業		【新規】 家族等から家事や育児の協力を十分得られず、育児不安や育児負担感がある産婦（産後2か月未満）とその児に対し、医療機関等において心身のケアや育児のサポート等のきめ細かい支援を実施、また、産婦に休養の機会を提供する。		保健センター
○					産前・産後サポート事業（助産師の継続派遣）		【新規】 妊娠中に1回、出産後新生児訪問を経て、計4回、必要な家庭に、助産師が継続的に訪問し、母子をサポートする。		保健センター
○					産前・産後サポート事業（プレママ・産後ママゆったりスペース）		【新規】 妊婦及び産後2か月未満の産婦とその児に対し、休養・交流・相談を実施。（平成29年10月から実施予定）		保健センター
○					不妊治療専門相談事業		【新規】 不妊に悩んでいる方に対し、専門医、助産師が相談に応じる。		保健センター

⑦ 健康管理

※市が行う主な関連施策のうち、拡充等事業変更があったもの及び継続事業において工夫・改善等の取組をおこなったものを記載。
※下線部_____は前回の懇談会から加筆・修正箇所

ライフステージ					事業名	28年度の取組	29年度の取組	今後の取組予定	所管
妊・幼	学齢	成年	壮年	高齢		拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組	拡充・縮小・廃止または 継続事業における工夫・改善等の取組		
		○	○		糖尿病腎症重症化予防事業			<u>【平成30年度新規】</u> 国保健康診査後、糖尿病及び腎臓のデータにおいて、フォローが必要な方に、主治医や糖尿病専門医と連携しながら、6か月の継続的な訪問・面接等による保健指導プログラムを実施する。	国民健康保健センター